

NPO 法人 ふろんていあタウン工房

ふろたん通信

2019年12月16日 広報センター No. 33



◆10月26日・11月4日「びるまの竖琴」推薦の二つの映画鑑賞報告

今回は情報交換の場としていつも訪れている鹿比寿の「びるまの竖琴」のモーココさんと佐野さんから勧められた二つの映画の紹介です。

10月27日はユネスコの「世界視聴覚遺産の日」、一つ目は、その記念特別イベントとして26日に京橋の「国立映画アーカイブ」のホールで上映された、**日本とビルマ初の合作映画「日本の娘」で1935年10月の完成、なんと終戦の10年前！昭和10年の作品です。**

ビルマ人飛行士兄弟が東京ーラングーン間のノンストップ飛行に挑み日本の娘と恋におちる物語、ニープ監督・主演作で、ニープ兄弟は後にビルマ首相となるウーソー団長ら6名の観光団として来日、日本紹介を目的にした貴重なロケ映像を豊富に収めています。ビルマでは公開し人気を博しましたが日本では未公開で、1992年にプリントが国立映画アーカイブで発見された後に上映されました。

今回はデジタル復元が施されての文化庁と国立映画アーカイブ主催の1日だけの特別上映会でしたが、来年はミャンマーで上映されるとのことです。国立映画アーカイブとして保存されますのでこれからも観る機会はあるでしょう。



ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」記念特別イベント
A Celebration of World Cinema for the Centenary
『日本の娘』
デジタル復元版 特別上映会
Social Savagings of 'The Daughter of Japan' (1935) by Kenji Mizoguchi
2019.10.26 SAT 12:00pm - 4:00pm トークイベント 1:50pm



蜜蜂と遠雷
松岡茉優 桜坂義孝 森崎ウィン 鈴鹿央士
原作・演出 新藤兼人
監督 萩原遼

二つ目は10月4日に公開された「**蜜蜂と遠雷**」、2016年9月に幻冬舎から出版され（今年4月には2分冊の文庫本になっています）、**2017年に直木賞と本屋大賞をダブル受賞した思田陸のベストセラー小説の映画化です。**

ピアノの天才たちが集う国際ピアノコンクールを舞台に、4人の天才ピアニスト、母の死でピアノが弾けなくなったかつての天才少女亜夜、楽器店で働き家族の応援を背に最後の挑戦に挑む明石、完ぺきな演奏技術と感性を併せ持つ優勝候補のマサル、すさまじい演奏で見る者を圧倒する謎の少年塵が頂点を目指して熾烈に競うさまをスリリングに描いています。第1〜3次予選と本選の審査プログラムを本ではそのまま目次にして4人の演奏曲を載せ、最終ページで審査結果を発表するユニークな構成ですが、映画でもそのままです。**何処がミャンマーとつながっているのかって？** 審査結果で第2位になったのが物語の主人公の亜夜で、第1位がマサル、映画では松岡茉優と森崎ウィンが演じています。

私は公開1カ月後の11月4日に家の近くのMOVIX 橋本で観ましたが、その後も全国各地で放映していますので、まだどこかの映画館で上映中かと思います。探してみてください。

◆12月10日 スタディツアー企画検討会

来年予定しているスタディツアーについて、URリンケージの海外プロジェクトを担当している栗村・相田（日本工営出向中）両氏に事務局長と理事長も加わった4者企画検討会を行いました。**地域の生活に繋がるスタディツアーの組み立て方等について検討し、これからも定期的な情報交換を続けていきます。**

前回2017年4月にピースインツアーと一緒に企画したスタディツアーは想定外の単独行になりました。ホームページのふろたん技研コーナーVol4に藤田直人ひとり旅報告レポートが載っていますのでご覧ください。



◆1月17日 新春ふろたんインタビュー

新年の2020年に向けて第11回ふろたんインタビューを準備中です。インパル作戦に従軍し帰還後は30年以上にわたりミャンマー人留学生を支えてきた**今泉記念ビルマ奨学会会長の今泉清詞さん**と、奨学会理事長で2月には城西大学の学生を連れてヤンゴン大学でミャンマー研修を実施する**城西大学理学部客員教授ティレイさん**のお二人にお話を伺います。ご期待ください。

◆2019年度会費納入のお願い

今後のセミナー等の行事に参加されたときにお渡しいただくか、下記口座にお振込みください。

振込口座 ゆうちょ銀行 トクビ) フロンティアタウンコウボウ
記号10180 番号56409771 事務局(会計担当) 西原歩